

RI2820地区

# 水海道ロータリークラブ



## 四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
1. 真実か どうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情深めるか
  4. みんなのためになるか どうか

2013-2014年度 RI会長  
ロン D. バートン

次回例会予定 5月21日 外部卓話  
5月28日 移動例会 幸すし

VOL. 51 No. 36 (通算No. 2398)

2014年5月14日(水) 例会プログラム

点 鐘

ロータリーソング・四つのテスト

ビジター紹介

出席報告

S A A 報告

諸 報 告

幹 事 報 告

会 長 挨 拶

外 部 卓 話



写真提供: 青木正弘会員

2013-2014年度 会長 熊谷 昇 幹事 染谷 秀雄

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



例会報告 VOL. 51 No. 35 (No. 2397) 5月7日(水)晴れ(司会 鈴木勝久委員長)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

©2014-2015年度 クラブ協議会

## 誕生祝



《会員》青木清人会員 高須 薫会員 熊谷 昇会員 登坂 寛会員 石塚利明会員  
《ご夫人》大串会員 草間会員 木幡会員

## 表彰



ポールハリスソサエティ、在籍40年以上  
北村 仁会員



## 諸報告

第7分区親睦ゴルフのご案内 北村英明会員

6月5日(木) 於:水海道ゴルフクラブ  
ご参加宜しく申し上げます。

## 幹事報告 染谷秀雄幹事

週報受理クラブ 竜ヶ崎RC

例会変更通知 竜ヶ崎RC 5月27日(火) 例会場の変更 松泉閣  
藤代RC 5月19日(月) 例会場の変更 かしむら

## 会長挨拶 熊谷 昇会長



ご挨拶申し上げます。さて五月に入りました。

暦の上では、5月5日から二十四節気の立夏になります。気持ちの良い風が吹き、晴天が続くので外に出ることが楽しみな時期でもあるとされています。

皆様はどのようにこの5月の連休をお過ごしになったでしょうか？

5月といえば「目に青葉 山ほととぎす 初鯉」という江戸時代の俳人、山口素堂の俳句があります。季語が3つも入ってる贅沢な句で有名です。落葉した枝に芽吹いてくる青葉、春の鶯から変わるほととぎす。視覚聴覚で楽しむ季節に加え、初鯉味覚の初夏を詠んだすぐれた俳句です。

今でこそ誰でも美味を満喫できる初鯉ですが、当時の江戸で初鯉は庶民には見ることも、ましてや口にすることも出来なかったとされています。山口素堂の没後100年の文化9(1812)年に、魚河岸に入った17本の鯉のうち、6本が将軍家へ献上され、残りを高級料理屋の八百膳と魚屋が引き取り、そのうち一本を三代目中村歌右衛門が3両で買ったという記録が残っているそうです。1両は現在30万円ぐらいと考えられていますから、少なくとも当時の最下級の武士の一年分ほどの給料に相当したといわれています。

芭蕉と親交のあった素堂ですが、芭蕉には遠く及ばず、裕福とは言えない立場で、高価な初鯉は高嶺の花だったようです。そのため初鯉を食べたいという強い願望を俳句に詠んだのかもしれませんが。

鯉好きの方はこの句をもじって「ネギ大葉、山ほど盛って、初鯉」なんて詠む方もいるようです。

またほととぎすは日本では夏鳥で、九州以北で繁殖しています。北海道では南部に少数が生息しています。そのさえずりは様々で、聞く人によって「東京特許許可局」とか「てっぺん、かけたか」または「てっぺん禿たか」と聞こえるようで、この鳥の鳴き声が嫌いだという人もいますそうです。

今日は2014-15年度、武藤-山野井年度方針についてのクラブ協議会を予定しております

具体的な方針は新年度に入ってから各員会で議論されたものが発表されることとなりますが、今日は基本になる考え方を武藤エレクトはじめ各委員長に述べていただく機会といたしました。従前は新委員長会議として例会とは別に開催しておりましたが、今年度は例会でのクラブ協議会としてプログラム化いたしました。よろしくお願いたします。挨拶を終わります。

## クラブ協議会

### 武藤康之会長エレクト



次年度は、会員増強・職業奉仕・プログラム・親睦活動に力を入れながら、楽しいクラブ運営と例会を心掛けたいと思います。

### 次年度プログラム委員会 古矢 満委員長



武藤会長エレクトのワンポイントメッセージにあるように、移動例会を含めて卓話を立案したいと思います。

### 次年度親睦活動委員会 荒井孝典委員長

次年度(2014~2015年度)武藤会長年度で親睦委員長を務めさせていただきます荒井です。今まで2年間、五木田ますき委員長、雨谷委員長のもとで委員、副委員を務めさせていただきました。この2年間にお二



会長 武藤 康之

会員組織委員会	各委員会間調整並びに合意形成を。
会員増強委員会	前年度比3名以上の純増、会員58名目標。退会防止。
広報委員会	地域社会へ適切なPR並びに公共イメージアップを図る。社会福祉団体へのアピール。
職業分類委員会	会員増強、選考委員会との連携と職業分類の充填推進、均衡のとれた会員組織を。
会員選考委員会	会員増強、職業分類委員会との連携により会員適格性の良き判断を。
ロータリー情報委員会	新会員のための定期的なオリエンテーションの実施と現会員の継続教育の機会提供を。
クラブ管理運営委員会	各委員会の機能保持と効果的な運営活動の実施、各委員会の年次目標達成への援助を。
出席委員会	出席率向上、長期欠席者へのアプローチ、お弁当の確実な手配
親睦活動委員会	会員並びに家族間の和を広げ、友好を深め合うための楽しい企画の創意工夫を。
SAA委員会	例会会場監督並びに設営、クラブ奉仕活動資金確保のためのニコニコボックス目標額達成へ(200万以上)。
プログラム委員会	クラブ内外卓話の立案、実施による楽しい例会づくりを。
会報委員会	選報による例会記録保存と伝達並びに興味を注ぐ会報を。
雑誌委員会	ロータリー機関紙「ロータリーの友、ザ・ロータリアン」へクラブ会員の関心を高めるよう、興味ある内容紹介とロータリー活動への認識を図る。
IT委員会	ホームページによるクラブ奉仕活動の紹介、並びにクラブ外のロータリー情報入手紹介を。インターネット環境の紹介。
職業奉仕委員会	自己の職業奉仕とあらゆる有用な職業に対する価値と認識を見出そう。青少年への職業意識親の高揚施策検討を。
社会奉仕委員会	地元地域社会への奉仕プロジェクトの継続。地域内での隠れた奉仕者、人材を探そう。
国際奉仕委員会	継続奉仕プロジェクト(ツウンバとの交換留学生)WCSの実践推進。国際親善と国際理解に努めよう。
新世代奉仕委員会	ライラセミナーへの参加推進。ボーイスカウト、ガールスカウトへの助成。子ども達への奉仕活動を。
ロータリー財団委員会	1人130ドルの寄付金(クラブ目標1万ドル)、ポリオプラス特別基金へ1人20ドルの寄付金を(ワンコインボックス)。新ベネファクター1名以上。
米山記念奨学会	1人2万5千円の寄付金を。米山クラブ功労賞をめざそう。米山奨学生のカウンセラーを。(五木田利明会員)

## 出席報告 高須 薫副委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	賜 暇	メーク	出席率
55名	44名	11名	0名	11名	100.00%

## ニコニコボックス 倉持功典委員長

入金計 ¥61,000 累計 ¥1,767,000

誕生祝御礼《会員》登坂・青木(清)・熊谷・石塚(利)・高須 各会員

《ご夫人》大串・木幡・草間 各会員

2014-2015年度が近づいております。本日クラブ協議会宜しく申し上げます。 熊谷会員  
本日、次年度の第一回クラブ協議会を行ないます。どうぞよろしくお願い致します。 武藤会員  
先日、ビバホームで電球を買いに来た夫婦の会話を耳にしました。夫がLEDランプを選ぼうとしたとき妻が  
あなたあと何十年生きるつもりなの そのうち家が壊れるわよ！！ 驚きました！！ 青木(正)会員  
バッジ忘れました。 雨谷会員  
GW明け早々から大変お疲れ様です。今年は事件・事故が多発しておりますので、十二分にお気をつけ下  
さい。 石井会員  
連休終わりました。 瀬戸会員  
その他 山野井・大塚・白井 各会員  
早退します。 木幡・鈴木(茂)  
例会欠席しました。 染谷(秀)・草間・古矢・北村(英) 各会員  
しばらくお休みしました。 白井・青木(清) 各会員

会報委員会 五木田利明委員長 青木清人副委員長

## ポリオ撲滅 そのゴールのために

ロータリアンの皆さん、四半世紀以上も前のことになりましたが、私は、今はまさに「あと少し」のところにあるポリオ撲滅活動が、まだ始まったばかりのところ、キャンペーンに参加したことがあります。

当時、ポリオを撲滅するためにどのくらいの時間がかかるのか、その過程でどれだけ多くの障害があるのか、知っている人は一人もいませんでした。もし知っていたら、この挑戦を引き受けることについて、どのように感じていたのかわかりません。一つだけ確かなことは、この 29 年間の一日一日がとても価値のある日々だったということです。これらの歳月を経たからこそ、私たちは、何百万もの子どもたちを、ポリオによって手足が不自由になるという脅威から救ってきたのです。これはかけがえのないことです。そして今、ポリオで手足がまひする子どもたちがいない世界に、私たちはこれまでに近く近づいています。

### ゴールに近づくために.....

ゴールまで長いレースでしたが、ゴールは目の前です。しかし、私たちが前に進み続けなければ、そのゴールテープを切ることはできません。そして、世界中のあらゆる地域にいる一人ひとりのロータリアンの支援があって初めて、達成されます。

まず私たちに必要なのは、皆さんの声、そして皆さんのアドボカシーです。10月24日の世界ポリオデーに向けて考えてみてください。認識を喚起するために、皆さんの地区やクラブでは何ができますか？ 政府関係者に手紙を書いたり、ポリオ撲滅のための資金を集めるパーティーを開いたり、地元の学校とのイベントを計画することができます。もし、あなたが、あるいは知り合いの方がポリオにまつわるストーリーを持っているのなら、それを [www.endpolionow.org/stories](http://www.endpolionow.org/stories) に書き込んで、その知識や経験を分かち合ってください。一番大切なことは、その勢いを維持することです。ポリオとの闘いが重大な局面にあることを、皆さんの地域社会に、そして世界に広めていきましょう。

### 皆さんの支援を2倍にする

私は、皆さんに「End Polio Now: 歴史に1ページを刻もう」キャンペーンが順調に進んでいることを報告できることをうれしく思います。ロータリーとビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団が新たな合意文書を交わし、それに基づき1月に7,000万ドルを受け取りました。さらに4年間(2018年6月末まで)、この合意は継続し、その間ゲイツ財団は、年間3,500万ドルを上限として、ロータリーがポリオ撲滅に寄付した額の2倍の額をマッチングすることになっています。この機会を最大限に生かして、皆さんのできる支援をしてくださるよう奨励しています。私は、私たちは共に、ポリオ撲滅を実践することができ、世界を永遠に変えると確信しています。